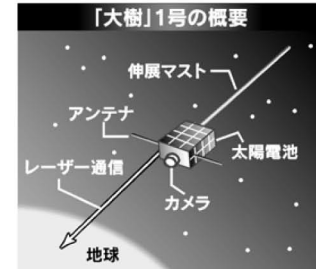


人工衛星「大樹」1号

高画質カメラ、世界に画像配信

道工大グループ
概要 要 報 告

【札幌】北海道工業大で開かれている「宇宙の新技術」をテーマにした「宇宙科学技術連合講演会」で報告された。昨年打ち上られた「HITs大樹」1号の概要が30日、AT（ヒットサット）の改良型、高画質カメラや動画配信機能を搭載、早ければ2010年度にも打ち上げる。地上局の候補には大樹町も想定している。



「大樹」1号は、一般の生活の中に「宇宙の視点」を取り込めるようにした宇宙コンテナのインターネット配信を事業化する

の目的。砂漠化の観察など地球温暖化対策のほか、「農作物の作柄や生産管理、牧草地の施肥コントロール」など酪農への活用も想定している。「1号では通信回線の確保など技術試験に主眼を置き、農業への活用などは2号機以降になる。1号に搭載するカメラやレーザー通信の実験には既に着手、3年以内の打ち上げを目指している。」（末次 一郎）